

15 巨銀騒動 最中ひっそり独居死して いた「武藤元副総裁」義母

民主党の強硬な反対に遭い、日銀総裁になれなかった武藤敏郎元副総裁(64)。まだ水面下で与野党が折衝を重ねていた最中、武藤氏の義母がひっそり息を引き取っていた。3年前に夫の橋口収・元公正取引委員会

委員長を亡くした後の、独居死だった。

橋口廣子さん(享年83)が亡くなったのは、2月15日のこと。関係者によれば、「その日の午後、橋口さんの娘さん(武藤夫人)が、自



武藤元副総裁と、義父に当たる故・橋口氏

次官から日銀副総裁となったが、大蔵官僚時代には橋口氏と同じ主計畑を歩き、良き先輩後輩の間柄だった。

訃報記事もなく

橋口氏は、05年7月に病死(享年83)。翌年に長男も亡くし、廣子さんは通いのお手伝いさんの世話を受け、1人で暮らしていた。

「死因は、心筋梗塞だか脳溢血と聞きました」

と近所の住人は言う。

「奥様がなくなる2、3日前に、駅前のスパーの近くでお会いしました。奥様は足が悪くて、いつも杖をついていました。その日は、(家までは)時間はかかるけれど、良い運動になる。今日は天気が良いですね」

などと語りつづけておられました。娘さんはちよくちよく遊びに来ていましたが、「独り暮らしは淋しい」と漏らされることもありました」

先の坂野氏は話す。

「廣子さんは慎ましやかで、橋口君をよく補佐していました。明るくて、気の利く人。橋口君も、奥さんを大切にしていました。橋口君

心の花の散るらむ

「廣子さんは函館の出身で、お医者さんの娘さんだったと思います。昔、橋口君が若い頃、函館税務署の署長で赴任していたことがありました。その時に、知り合ったと聞いています」

と話すのは、橋口氏と大蔵省に同期入省した元証券局長の坂野常和氏。

橋口氏は、夫人との間に1男1女をもうけた。その長女が、武藤氏に嫁いでいる。武藤氏は、財務省事務

が広島へ赴任した時にも、奥さんは一緒でしたね」

新聞に、訃報記事は載らなかつた。数日後、高円寺のお寺で葬儀がひっそり行われ、別の近所の住人は、「お手伝いでもと思っていたら、ご遺族から、親族のみで執り行うので、ご遠慮願います」と。さらに、「亡くなったことは口外しないでください」と言われました。武藤さんが総裁人事で大変な時なので、騒がれたくないということだったので「しょう」

奇しき因縁というべきか。「田中首相時代、橋口氏は主計局長で、事務次官レーズのライバルだった高木文雄氏は主税局長だった。田中首相は高木氏を次官に推し、当時の福田蔵相は橋口氏を推したが、結局、高木氏が次官になった。福田首相は、武藤氏の能力もさることながら、父親の代の橋口氏との縁もあって、武藤総裁にこだわったのではないか(財務省関係者)だが吉報は、武藤氏には届かなかつたのである。